

対象年度		令和 5年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート													
事務事業名		総合防災訓練開催事業						予算事業名		総合防災訓練開催事業費							
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令								
				09	01	05	11	経常経費	災害対策基本法								
総合計画体系		住みたい・住み続けたい 安全・快適な都市を目指そう						事業の区分		主要事業							
		安全に暮らせるまちづくり															
		防災対策の充実						担当課係等		防災安全課							
事業期間		継続 (平成19年度～ 年度)										消防防災係					
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】								【事業開始のきっかけや他市の状況など】									
防災訓練の実施により、災害時における速やかな避難所開設と市民の避難及び防災対策に関する意識向上、関係団体との連携強化を図る。								災害対策基本法第48条の規定により、市は防災訓練を行う義務がある。									
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】								【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】									
大規模災害を想定した実践型の総合防災訓練を実施する。 ※新型コロナウイルス感染症の状況によっては、感染症対策も含む。								市民、自主防災会、その他防災関係機関等									
								【事業をとりまく環境の変化】									
								・令和2年度総合防災訓練大綱（R2.5.29）において、実践的、効果的な訓練の推進をするよう求められている。 ・新型コロナウイルス感染症に配慮した避難所運営が必要となった。									
【令和 5年度 事業内容】				【令和 6年度 事業内容】				【令和 7年度 事業内容】									
・災害本部の立ち上げ ・避難所開設訓練（新型コロナ対応） ・避難誘導訓練 ・広報通信訓練 など				・災害本部の立ち上げ ・避難所開設訓練（新型コロナ対応） ・避難誘導訓練 ・広報通信訓練 など				・災害本部の立ち上げ ・避難所開設訓練（新型コロナ対応） ・避難誘導訓練 ・広報通信訓練 など									
■事業費																	
				R03年度		R04年度											
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0										
	県		支	出	金	50	50										
	地		方		債	0	0										
	そ		の		他	0	0										
	一		般	財	源	272	556										
歳 入 計 ( 千 円 )				322		606											
歳 出 内 訳	節 ( 番 号 + 名 称 )				金額 ( 千円 )		金額 ( 千円 )										
	10	需用費			322		266										
	12	委託料			0		22										
	13	使用料及び賃借料			0		318										
歳 出 計 ( 千 円 ) ( A )				322		606											
伸 び 率 ( % )						88.19											
備 考	総合計画73ページ 予算書168ページ																

# 令和 3年度行政評価シート

## ■指標

種類	指 標 名	単 位		R03年度	R04年度	R05年度
活動 指標	開催数	回	目標	1.00	1.00	1.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	参加者数	人	目標	500.00	500.00	500.00
	防災訓練、避難所開設訓練参加者数		実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

## ■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	災害対策基本法により市が行う義務がある。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	災害対策基本法により市が行う義務がある。
	手段の妥当性	C 見直す必要がある	これまで防災訓練と防災広場を行ってきたが、防災広場は啓発的要素が大きかったため、防災広場を廃止し防災訓練を実践的な内容で実施する。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	事業内容の見直しに伴い、コスト及び人員についても見直した。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	防災訓練は大規模災害を想定しており、市内全てに関わるものである。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	発災時の市民の安全な避難及び避難所運営等の実践的な訓練を行う必要がある。
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	令和4年度事業から内容の見直しを行うため、関係機関との調整が必要となる。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
防災訓練は市が行わなければならない事業であり、訓練を実践的な内容とする必要もあることから、関係機関との調整を行う必要がある。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
防災訓練として実践的な内容とし、市民が災害時に確実に避難行動をとれるようにし、避難所では避難者が協力して避難所を運営できるようにしていく必要がある。			

## ■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））  
■拡充（人・モノ・カネ等の拡充） □改善改革しながら継続 □現状のまま継続（改善・改革なし） □統合・新規事業への展開  
□縮小 □休止 □廃止・終了 □予定どおりの要求 □一部改善の上要求 □今回は見送り □その他の処置

方向性の具体的内容  
自主防災会や災害救援ボランティア等を巻き込んだ実践形式で行うにあたって例年通りの訓練ではなく手段等を変えて開催すること。

2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））  
□拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ■改善改革しながら継続 □現状のまま継続（改善・改革なし） □統合・新規事業への展開  
□縮小 □休止 □廃止・終了 □予定どおりの要求 □一部改善の上要求 □今回は見送り □その他の処置

企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入）  
財政状況と可能な限り調和を図りながら進める。